

## 令和6年度 第4回杉並区地域自立支援協議会 次第

### 1 開会 区挨拶

### 2 会長挨拶

### 3 議題・報告

#### (1)幹事会報告

#### (2)令和6年度杉並区地域自立支援協議会トークライブの報告

#### (3)第1回すぎ cha 場の報告

#### (4)各部会の第9期取組報告

#### (5)すまいるの活動報告

—— 休憩 5分 ——

### 4 グループ討議と発表

『 第9期の振り返りと第10期に向けて 』

事前説明・質疑応答

グループ討議

報告

### 5 その他(連絡事項等)

<事前配布資料>

資料1 第4回本会前幹事会記録

資料2-1 令和6年度杉並区地域自立支援協議会トークライブ実行委員意見まとめ

資料2-2 令和6年度杉並区地域自立支援協議会トークライブ参加者アンケート集計結果

資料3 杉並区地域自立支援協議会<第9期>部会活動報告と今後の予定について

資料4 第9期 杉並区地域自立支援協議会の協議内容・取組と今後に向けた課題

<机上配布資料>

令和6年度すまいる活動報告

## 第4回本会前幹事会記録

### 【議題1】今期の協議会運営・幹事会の振り返りと改善点

#### 1. 幹事会の役割・事務局との関係性

- 事務局案への「賛否を問われる」形になりがち
  - 幹事が主体的に意見を出しにくい。
  - ただ「何も用意がない」と議論が進めにくい面もあるため、両者のバランスが必要。
- 自治体によって運営形態が異なる
  - 行政主導の区もあれば、民間主導の例(八王子など)もある。
  - 杉並区の場合、グループ討議など意見を引き出す工夫はしているが、どう反映されるかが不透明になりがち。

#### 2. 意見が「深まらない」「活かされない」課題

- 出された意見をどこでどう決定・共有するのかが不明瞭。
- せっかくグループワークで意見が出ても、次につながる仕組みが見えないと形骸化しやすい。
- 「ネットワークを作る場」という意義は認められているが、成果がわかりづらい。

#### 3. 改善案・方向性

- 幹事会の基本方針を文書化
    - 目的、役割、進行ルール、議題の扱いなどをまとめ、年度初めなどで共有する。
  - 各部会の活動状況・課題を幹事会で共有
    - 幹事会で「部会報告→課題検討→本会へ提案や意見募集」の流れを明確にする。
  - 事前アンケート等で議題候補を収集・優先度を検討
    - 幹事が主体的に「議題を提案」しやすい仕組みをつくる。
  - 意見を「可視化」し次回以降に継続検討
    - グループワークや部会で出た提案や課題をリスト化・進捗確認することで「活かされている」感を高める。
-

## 【議題 2】本会における第 9 期振り返りの進め方

### 1. 国・都から求められる協議会の機能との関連づけ

- 協議会の機能(情報・調整・連携など)と、実際の 9 期の取組がどう対応していたかを確認したい。
- ただ、機能軸で整理するとわかりにくいとの声もあり、「今期やったこと」から当てはめるほうがスムーズという意見。

### 2. 資料作成の方針

- 「9 期に実施した活動」を箇条書きなどで整理し、「それがどの機能に該当し、成果や残る課題は何か」を簡潔に示す形式に再構成。
- 本会への資料締切が迫っているが、可能な範囲でドラフトを幹事会メンバーに確認してもらう。

---

## 【議題 3】すまいるの活動報告

### 1. 報告の必要性と背景

- すまいるの事業範囲が広いため「何をやっているか分かりにくい」という意見が以前から多い。
- 本来は相談支援機能の評価まで踏み込みたいが、まずはすまいるの全体像・具体的事例を伝える段階が先。

### 2. 具体的報告内容

- 事例ベースで「どの分野とどう連携したか」を紹介
  - 「アウトリーチ」「継続支援」「連絡先への繋ぎ」など、ケースによって異なる対応を可視化する。
- 「履行評価」の結果は抽象度が高く、委員に伝わりにくい。
  - まずは「こういう事例にこう対応してきた」という事例紹介で活動イメージを共有する方針。

### 3. 今後の展開

- すまいるの具体的業務と他機関との連携状況を本会で紹介し、委員の理解を深める。
- ゆくゆくは「相談支援機能全体としてどう評価するか」を検討する。

## 令和6年度杉並区地域自立支援協議会トークライブ実行委員意見まとめ

	出された意見	次年度に向けて
開催時期・開催時間・会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいフェスタと同時開催のため、予想を大幅に超える来場者あり(来場者77名のうち事前申込み31名。残りの40名以上が当日飛び込みの来場者)。</li> <li>・登壇者の障害種別が広がったことで、様々な障害種別の方が来場された。子どもの来場も多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き一般区民に向けたものを目指し、効果的な開催時期・場所を検討していく。(実行委員会が出た案としては、区民センター祭り、区役所1階ロビー、オンライン配信を行う等)</li> </ul>
事前準備・開催までのスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より、実行委員会を定例開催とした(8月より月1回開催。本番前5回実施+終了後の振り返り1回。計6回)。定例としたことで、委員の皆様の参加率も上がった。</li> <li>登壇者との打ち合わせは、内容により打ち合わせやりハ等、実行委員とは別で設ける必要があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も実行委員会の定例開催を検討する。振り返りの実行委員会で検討した内容を次年度の実行委員に引き継ぐ。</li> </ul>
当日の準備・片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の進行表、役割分担、会場の配置図を事前に共有できていたため、スムーズに準備を進められた。</li> <li>・音響/映像関係の担当者の負担が大きかった。次年度、改善の余地あり(登壇者に事前に聴取したマイクの使用本数希望が当日大きく変化した。マイクスタンドの有無の事前確認を失念していた。登壇者のマイクと司会のマイクを移動させる場面が何度かあり、マイクの本数が足りなかった。PCの映像が何度もフリーズした*映像サイズが大きくスペック不足。アンプ係も必要だった 等)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進行表、役割分担、会場の配置図は引き続き用意する。</li> <li>・会場下見の際、音響/映像関係は念入りな事前確認を行う。</li> </ul>
内容(テーマ・登壇者・時間配分など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登壇者に聴覚障害の方、障害児の方が新たに加わり、さらに多様性が増した。昨年度来場した方もさらに楽しめる内容となっており、バージョンアップできていた。</li> <li>・やりとりはライブ感が出た。会場は狭くなったが、小さい箱ならではの一体感はあった。</li> <li>・「経験が積めてよかった」「自信になった」等、登壇者にとってもエンパワメントになった。</li> <li>・「ピア・メンバー」の位置づけでの発表ということで、その仲間が「自分たちの代表が発表している」という意識で見に来た利用者がいた。ピア・メンバーのあり方に合致できていたか。</li> <li>・協議会に普段関わっていない方が関わり、登壇していただいていた良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現テーマは一般区民にも分かりやすい内容である。現テーマを続けていきたい。</li> <li>・テーマは変わったとしても、「当事者の声を大事にしたい」という声は今後も継承していきたい。</li> </ul>

<p>広報・周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいフェスタから流れてきた障害当事者や家族には協議会の取組を知っていただく機会となった一方、一般区民の集客が伸び悩んだ。</li> <li>・今年度新たに区公式 X(旧 Twitter)での告知も行ったが、そもそも認知度が低い。効果があったのか判断できず。</li> <li>・新規開拓も必要だが、一方で当事者や支援関係者向けの周知活動も引き続き地道に活動するのみ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報・周知は今の時代とても大事。戦略を持って進めていきたい。</li> <li>・区公式 Xに加え、Facebookでの告知も新たに検討する。</li> <li>・引き続き、福祉に携わっている方たちへの遡及も行っていく。</li> <li>・事前プログラムを配布し、通しでなくても見たい時間に自由に来場できるように工夫する。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開演中は出入り自由としていたが、休憩を設けてほしかったと外部内部共に意見あり。</li> <li>・アンケートの回収率が悪かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示物を見ていただく目的で休憩時間を入れる。</li> <li>・途中退席も多かったため、配布する次第にアンケートのQRコードを盛り込む。</li> </ul>

# 令和6年度 杉並区地域自立支援協議会トークライブ 参加者アンケート集計結果

資料2-2



【開催日】令和6年12月1日(日) 午後1～3時

【場所】セッション杉並 第8・9・10集会室

【来場者】77名(当事者20名、家族19名、支援関係者19名、関心のある個人1名、その他13名、不明5名)

【アンケート回答数】22件(回答率: 29%)

## 1 回答者の属性

(件)

障害当事者	家族	支援関係者	学生	関心のある個人	その他
4	1	13	0	3	1

●その他:区職員1(イベント企画や障害者の方へのサポートなどを検討する際の参考にしたいと思い参加)

## 2 トークライブのことを知ったきっかけ

チラシ・ポスター	広報すぎなみ	区ホームページ	協議会関係者の紹介	その他
5	1	0	1	10

●その他:すまいる荻窪ニュース12月号、登壇者からの紹介、実行委員・スタッフ

## 3 開催時期は適切だったか

適切だった	適切でなかった	どちらでもない
21	0	1

## 4 テーマ「それなら私もできるかも」は適切だったか

適切だった	適切でなかった	どちらでもない
21	1	0

## 5 「杉並区自立支援協議会について」の説明は分かりやすかったか

とても分かりやすい	分かりやすい	どちらでもない	少し分かりづらい	分かりづらかった
11	8	1	1	0

\*未選択…1

## 6 登壇した当事者のお話や寸劇はよかったか

とてもよかった	よかった	どちらでもない	あまりよくなかった	よくなかった
15	5	1	0	0

\*未選択…1

## 7 トークライブの内容で印象に残ったこと

- ・「自分も誰かを助けたい」という大河内さんの言葉に感銘を受けました。
- ・とても良かったです。
- ・精神の方たちのセッションが、一般の人からすると、想像しやすい部分がもう少しあったらよかったのかなと。大変なのはわかるけど、何をどうしたら良いのか？が伝わっているかが心配になった。
- ・各登壇者の発表は、私たちの身近な暮らしから、その障害ならではの障害特性による困りごとや工夫について、寸劇やスライドなど、視覚的にわかりやすい形で、楽しみながら理解できる内容だった。区民にとって、共感できる内容もあり、「それならわたしもできるかも」と思える内容だったと思う。
- ・みなさんお忙しい中で少しずつ準備を重ねられたことが伝わってきました。私は支援関係者ですが、このような内容が本当に初めての方達に観ていただけると素敵だなと思います。
- ・コミュニケーション障害の特性を知るためのミニオン星人の寸劇はすごくわかりやすかった。
- ・大人だけでなく中学生のお話も聞けてよかった。
- ・身体障害の方々の接客対応していたウェイトレスの立ち振舞が素晴らしかったです。知的障害の方の意見の汲み取り方や精神障害の方々の発表の取りまとめ方など、わかりやすかったです身体障害の車椅子利用当事者が将来に向けて前向きな発言をされていたことに感銘を受けました。その保護者は困りごとを抱え込まずに、誰でも利用できる人は利用してもらえればと思いました。
- ・障害それぞれ手伝える事、内容それぞれ出来ること、内容を出来る時に無理なく出来るように互いにokであればよいのでは？と感じる。
- ・当事者の方達の貴重な意見を聞けたのが良かったです。
- ・当事者の、リアルな話しを聞くことができて良かったです。
- ・当事者の方の困ったエピソード。地域の方に伝えたいこと。
- ・ゆっくり優しく声かけする、さりげない感じで関わる、「伝わる」とは、提案型の声かけ、合理的配慮など、などのキーワードの実感を教えてもらいました。
- ・実際にあった事などを話してもらい、わかりやすい内容だった。飲食店の寸劇が良かった。
- ・当事者の方の声を聞くことが出来たのは良かったです。特に精神障害の方は本当に切実なお話もありながら笑う話もあり楽しかったです。
- ・みなさんがイキイキと発表されていて、とても良かったです。考えさせられることもたくさんありました。
- ・ふんわりとやさしく楽しい雰囲気

## 8 会場後方の掲示物はよかったか

とてもよかった	よかった	どちらでもない	あまりよくなかった	よくなかった	見ていない
8	8	1	0	0	4

\*未選択…1

## 9 全体の満足度

とても満足	満足	どちらでもない	不満	とても不満
12	7	1	1	0

\*未選択…1

## ●満足度の理由

### <とても満足・満足の理由>

- ・困りごとというバリアを理解することで、どう配慮すれば良いか具体的に見えるのでとても良いと思いました。個人的には普段関わらない障害種別の方の実情を知ることができたので良かったです。
- ・僕も精神障害者だから。
- ・異なる障害者当事者からの話はとても貴重でした。特に、当事者親子のトークは印象的です。どういう声掛けが必要なのか(大丈夫ですか?は本当の助けを求めにくいこと)、子供に常に伝えていることと現状を聞いたことが、とても勉強になりました。
- ・それぞれの時間配分がギリギリで無駄な時間が一切なかったように感じました。
- ・身体障害、知的障害、精神障害の当事者の生の声を聞くことができ、心に染み入りました
- ・障害種別に分かれて、利用者様の意見を聞いたので良かったです。
- ・当事者による、リアリティのある経験談が、実感として伝わり、障害者への理解が深まった。
- ・2時間あっという間でした。トークライブという形が良かった
- ・全体としては活気があって良かった。
- ・障害の知識がない人でも、ちょっとしたお手伝いができそうだと思えたから。また、当事者は支える側にもなれるし、支えたいと思っていることを知ることができたから。
- ・内容はとてもよかった。途中休憩が少しあるとよかった。人数が多く集まったため、会場が狭く感じた。
- ・3障害を網羅し、それぞれの思いや社会に臨むことが、語られていて良かったと思いました。
- ・わかりやすい。伝わってくるメッセージが沢山あった。
- ・トークを聞きに来たのですが、少し元気が出ました

### <どちらでもないを選んだ方の意見>

- ・もっと経済的に自立するにはどうすればよいか具体的なケースを紹介してほしい

### <少し不満を選んだ方の意見>

- ・展示物は結局椅子がじゃまして見れず。会場入口の壁面に展示があるとよかった。トークショーに参加する時も退出する時も見れるため。

## 11 その他、意見や感想

- ・お疲れさまでした。全体的にリズム感があって、内容も濃く且つわかりやすく、集客もできて大成功だったのではと思います！貴重な経験をさせていただき感謝です。本当にありがとうございました。
- ・来てくれる方が多くいて良かったと思う反面、関係者が多かったなど。もっと、一般の人たちが来やすい場や場所、アナウンスができれば、今後はいいのではと思った。
- ・質問コーナーを設けてほしい
- ・貴重な時間をありがとうございました。
- ・ホールのライブも見なかった。重ならないよう、時間帯を綿密に工夫してほしい。
- ・時代とともに内容が少しずつ変化していく。流れを感じながら昔を思い出しながら聴いていました。1981年から平成、令和の障害者機関(国の制度、法律)の成長も感じながら歴史を知りました。
- ・途中休憩があっても良かったのではと思いました。
- ・申し込みフォームについて、申し込みされたかどうかの確認通知とかがなかったので、申し込みがきちんとできているかどうかかわからず不安だった。
- ・今後も、このような企画の実施を期待しています。
- ・セッションは本当に行きにくいです

以上

## 杉並区地域自立支援協議会＜第9期＞部会活動報告と今後の予定について

部会名	計画部会
第9期の取り組みテーマ	「障害者施策推進計画」の進捗報告
第9期の活動内容	<p>○第1回計画部会(令和6年11月6日開催)において以下の進捗報告を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の令和6年9月までの数値実績</li> <li>・杉並区障害者施策推進計画の令和6年9月までの取組状況と課題</li> </ul>
第10期の予定	<p>令和7年6月ごろ…………… 令和7年度第1回計画部会          令和7年7月～…………… 基礎調査項目の検討          令和7年9月ごろ…………… 令和7年度第2回計画部会          令和7年10月～11月……………基礎調査の実施          令和7年2月ごろ…………… 令和7年度第3回計画部会          令和7年3月…………… 基礎調査結果の報告</p>

## 杉並区地域自立支援協議会&lt;第9期&gt;部会活動報告と今後の予定について

部会名	相談支援部会
第9期の取り組みテーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援について作成した冊子について、広める活動を行う</li> <li>・様々な現場での意思決定支援についての現状を確認する</li> <li>・意思決定支援と多職種連携について考えていく</li> </ul>
第9期の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の開催実績・取り組み内容等</li> <li>① 令和5年6月1日(木)10:00~12:00 ウェルファーム杉並 前期までの内容を共有、新しい委員も含めて「意思決定支援について大切にしたいこと」について意見・感想をもらう。 今年度の活動に向けて、このシートをどのように活用するか検討した。</li> <li>② 令和5年10月5日(木)10:30~12:00 ウェルファーム杉並</li> <li>③ 令和5年10月10日(火)16:30~18:00 なのはな生活園 ②はグループホーム連絡会に、③はなのはな生活園の職員に協力していただき、「意思決定支援について大切にしたいこと」の共有、現場での意思決定支援について意見をもらった。</li> <li>④ 令和6年2月16日(金)10:00~12:00 杉並区役所 前回の意見を踏まえ当事者からの意見をもらうため、すまいで活動されているピアサポーターに参加をしていただき、意思決定の場面における体験談などを話してもらった。</li> <li>⑤ 令和6年6月7日(金)10:00~12:00 ウェルファーム杉並 多職種連携からみる意思決定支援をテーマにして、良い連携例、良くなかった連携例を取り上げて、より良い連携について意見交換する。</li> <li>⑥ 令和6年10月18日(金)10:00~12:00 杉並区役所 多職種連携の中で、「支援者会議」に焦点を当てて、より効果的な連携について意見交換を行った。</li> <li>⑦ 令和7年2月21日(金)10:00~12:00 杉並区役所(予定) 「多職種連携における意思決定支援について考える」と題して、連携する機関と本人の意思が異なる場合に焦点を当てて、意見交換を行う。</li> </ul>
第10期の予定	<p>意思決定支援についての議論に終わりではなく、常に自分自身の支援を振り返っていくことの必要性を実感した期となった。また、連携を進める中で本人の意思を大切にしているかどうか、改めて考えていく機会であった。第10期の活動としては、意思決定支援・多職種連携の重要性を基盤に持ちつつ、個別支援から見る地域課題として共有・協議する流れを作るため、地域課題の抽出と解決に向けたプロセスを整えていくように議論を進めていきたい。</p>

## 杉並区地域自立支援協議会&lt;第9期&gt;部会活動報告と今後の予定について

部会名	地域移行促進部会
第9期の取り組みテーマ	「居住」と「支援体制」
第9期の活動内容	<p>【会議開催実績】  (令和5年度)第1回:令和5年6月29日(木)、第2回:令和5年10月12日(木)、第3回:令和6年1月25日(木)  (令和6年度)第1回:令和6年6月20日(木)、第2回:令和6年10月4日(金)、第3回:令和7年1月24日(金)</p> <p>【取り組み内容】  (1)地域移行パンフレットの作成  事業所により持っている情報にばらつきがあるため、「サービスをまとめて情報のばらつきをなくすことで良い資源活動になるのではないか」という意見から、地域移行についてのパンフレットを作成することとなった。“QRコードをつけるなどデジタルにも対応したもの”、“当事者と支援者が一緒に活用できるもの”などの意見をもとに事務局で案を作成し、会議内で確認をとりながら完成させた。社会資源の説明や連絡先、当事者と一緒に情報を書き込める杉並区マップも掲載されている。</p> <p>(2) 居住支援協議会との連携  「名前は知っていても具体的な内容は知らない」等の意見をうけて、杉並区住宅課の職員や実際に居住支援法人として支援を行っている不動産屋の方をお呼びして、事業の説明をしていただいた。具体的な支援内容や、居住支援法人により支援内容が異なることを知り、もっと多くの法人の特徴を知りたいという意見が出たため、来期以降も居住支援協議会について知識を深め、連携を検討する機会をつくっていきたい。</p>
第10期の予定	精神科病院入院患者の退院促進に伴い、地域で利用できるサービスの充実や支援者間の連携・情報共有など、支援体制の強化が今後も課題となる。引き続き「居住と支援体制」をテーマに、地域移行の実情を把握すること、そして医療・保健・福祉・住宅の4方面の連携を強化し、広げる取組を進めていく。

## 杉並区地域自立支援協議会&lt;第9期&gt;部会活動報告と今後の予定について

部会名	高齢・障害連携部会
第9期の取り組みテーマ	「高齢期・移行期の課題と支援を考える」 ～日中活動先の課題から、本人・家族と高齢期について考えていく～
第9期の活動内容	<p><b>R5年度</b></p> <p>■5月31日 第1回部会  部会長・副部会長選出。第1・2期の活動報告。第3期の活動についてグループ討議。ほぼ全員が新部会員のため、改めて高齢期の課題を共有した。  ○8月30日 B型:チャレンジの介護保険勉強会に幹事が参加  ケア24より介護保険の説明。クイズ形式や家族の話題を切り口に、介護保険制度を説明するなど、今後の周知方法の参考になった。  ○9月14～29日 区内通所施設に対して「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行期におけるアンケート」を実施。(32件の回答)</p> <p>■10月2日 第2回部会  上記アンケート内容を共有。第3回部会で施設職員と話し合いたいことをグループ討議。「利用者の気持ちを大事に、選択肢を増やす」などの意見があった  ○11月13日 障害者福祉人材育成委員会「第2回ステップアップ研修」において、当部会の取組を説明。移行前ケア会議や共生型サービスの説明を行う。</p> <p>■1月30日 第3回部会  工賃アップを目指すB型事業所の集まり「すぎなみ仕事ねっと」と合同開催。当部会の紹介や「介護保険と障害サービスを併給している方の事例」などを紹介。グループワークで高齢化する利用者に関する悩みや疑問を共有した。介護保険移行に向けては「ご本人のモチベーションを高める動機付けが必要」「介護保険事業所とのマッチングが大事」「プラス面マイナス面などの情報を知っておきたい」など、それぞれの立場から具体的な意見交換ができた。</p> <p><b>R6年度</b></p> <p>■6月19日 第1回部会  ・R6年度の活動について方向性を確認。「本人、家族に対して介護保険や共生型サービスの周知をする」「双方の支援者の情報共有を目指す」  ・動画視聴(YouTube 杉並区公式チャンネル)「高齢障害分野の職員が共生型サービスについて話し合ってみました」に出演した委員に感想を聞く。  ・グループワーク</p> <p style="text-align: right;">裏面あり</p>

	<p>テーマ:本人・家族と考える次のライフステージ。高齢期に向け本人・家族にどう働きかけていくか。お互いに見学・イベント参加するなどして知ってもらえるとよい。繋がりを作り、移行のハードル下げていけるとよい。</p> <p>⇒障害施設職員・保護者も含め、共生型サービス事業所の見学をする。</p> <p>■第2回部会(各見学会を部会活動とする)</p> <p>○9月 済美職業実習所・あけぼの作業所保護者会にて高齢期・移行期のサービスや事例について、事業者支援係と一緒に動画を使用して説明。施設職員・保護者も含めた、共生型サービス事業所の見学を企画。</p> <p>○10/29・30:和田ふれあいの家 ○11/12:スギコーデイサロン荻窪</p> <p>○11/14 スギコー浜田山 全体で職員3名・保護者2名の参加あり。</p> <p>■1月31日第3回部会 第3期の振り返り</p> <p>当事者委員よりB型作業所が担っている役割など率直な意見が出る。</p> <p>※障害の通所事業所に高齢者福祉支援者で見学する企画について</p> <p>⇒年度内に開催予定であったが感染症流行により未実施。</p>
第10期の予定	通所施設利用者の高齢化に関する課題は残っており、9期の活動継続と課題解決に向けた取り組みを検討していく。

## 杉並区地域自立支援協議会&lt;第9期&gt;部会活動報告と今後の予定について

部会名	医療的ケア児支援検討部会
第9期の取り組みテーマ	(1)杉並区内の医療的ケア児の受入れに関して (2)杉並区の医療的ケア相談体制について
第9期の活動内容	<p>令和5年1回目「学童クラブでの医療的ケア児の受入れ報告」 学童クラブで医療的ケア児を初めて受け入れるまでの準備、利用者の変化や職員・他の利用者との交流について</p> <p>令和5年2回目「災害対策」 地域ささえあいネットワークについて、 在宅人工呼吸器使用者個別支援計画作成について、 避難シュミレーションの報告</p> <p>令和6年1回目「18歳問題」 単独通学に至った事例報告 移行期医療の課題について</p> <p>令和6年2回目「併行通園・移行支援について」 児童発達支援事業所と保育園の併行通園事例報告 障害児保育園ヘレンの移行支援についての報告</p> <p>・部会での検討から、新たに「看護師による引継ぎ研修」の取組を開始しました。 ・参加者からは、検討テーマ内で課題と感じていることについては「18歳問題」「災害対策」があげられています。</p>
第10期の予定	<p>・対象を医療的ケア児から全ての障害のある子どもとして、地域課題の把握や共有、解決の手法について検討を行うこととし「こども部会」に変更します。</p> <p>・検討テーマ内で課題と感じていることについては「18歳問題」「災害対策」については、引き続き自立支援協議会で継続検討が必要です。</p>

## 杉並区地域自立支援協議会&lt;第9期&gt;部会活動報告と今後の予定について

部会名	地域生活支援拠点部会
第9期の取り組みテーマ	<p>緊急時対応 WG と強度行動障害・知的地域移行 WG に分かれて検討。</p> <p>・緊急時対応 WG =&gt; 要支援者の対象、緊急時の定義づけ。</p> <p>・強度行動障害・知的地域移行 WG =&gt; ①知的障害者の地域移行システム構築に向けた検討の着手 ②強度行動障害のある方の支援の実態把握を目的としたアンケートの実施</p>
第9期の活動内容	<p>部会は3回開催</p> <p>【第1回】令和6年10月31日(木)</p> <p>・地域生活支援拠点について。杉並区の取り組み状況、課題について</p> <p>・緊急時対応 WG</p> <p>① 緊急時対応計画の取り組み状況</p> <p>② 検討 PT での話し合いについて情報共有</p> <p>③ 今後 WG で検討したい内容について</p> <p>④ 要支援者の対象について</p> <p>・強度行動障害・知的地域移行 WG</p> <p>① 知的障害者の地域移行における現状・課題の共有</p> <p>② 強度行動障害のある方への支援の現状・課題の共有</p> <p>③ 今後検討したい内容について</p> <p>【第2回】令和6年12月26日(木)</p> <p>・第1回の振り返りと第2回までの動き</p> <p>・日の出福祉園 伊倉施設長より、都の地域移行の現状について</p> <p>・緊急時対応 WG</p> <p>① 第1回の振り返り</p> <p>② 要支援者の定義づけについて</p> <p>・強度行動障害・知的地域移行 WG</p> <p>① 知的障害者の地域移行システムの構築について(意見交換)</p> <p>② 強度行動障害のある方の支援に関するアンケート作成</p> <p>【第3回】令和7年2月20日(木)開催予定</p> <p>・第2回の振り返り</p> <p>・緊急時対応 WG</p> <p>① 第1回、第2回の振り返り</p> <p>② 要支援者の規模、個人情報の問題について共有</p>

裏面あり

	<p>③ 緊急時対応計画の書式検討</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・強度行動障害・知的地域移行 WG</li></ul> <p>① 知的障害者の地域移行システム構築に向けて(意見交換)</p> <p>② 強度行動障害のある方の支援に関するアンケート・中間報告</p>
第10期の予定	<p>次期(第10期)に向けて、検討内容、方向性等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年3回の部会開催予定。</li><li>・第1回目と第3回目は・強度行動障害・知的地域移行 WG と緊急時対応 WG に分かれて開催予定。第2回は合同開催予定。</li></ul>

テーマ	協議内容や取組	協議会機能	今後に向けた課題
協議会についての理解促進	<p>○協議会の機能・役割、杉並区の協議会組織の説明 ⇒年度の始めに事務局から説明をした。</p> <p>○法改正についての周知、それに伴う要綱の改正 ⇒R6年度の第1回で事務局より説明</p>	人材確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より分かりやすい内容が必要。</li> <li>・幹事向け、委員向け、区民向けとそれぞれ内容を精査する必要</li> <li>・国が求める協議会の姿に対して区の現状が掴みづらい。</li> <li>⇒現状が可視化された資料が必要。</li> </ul>
行政計画	<p>○行政計画(障害者施策推進計画)に対する意見聴取</p> <p>○同計画の進捗報告</p>	調整評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画部会での議論の報告に留まっている。</li> </ul>
権利擁護虐待防止	<p>○良い取組事例の収集 ⇒既存のネットワークへの協力依頼(特定相談支援事業所連絡会、仕事ねっと、生活介護連絡会) ⇒各関係機関での虐待防止につながる会議、打ち合わせ、取組などを集めて、区の財産として支援者が参考にできる形とする。当初、冊子配布を考えていたが、事業所向けサイトができるに伴い、そちらへ掲載予定</p> <p>○虐待防止と養護者支援について討議 ⇒当時者・家族グループ、障害支援者グループ、関係機関グループに分かれ討議を行い、地域での緩やかな見守りや気軽に集える場が必要、当時者のアドボカシーも重要などの意見が出された。</p>	権利擁護情報調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会それぞれの切り口での協議は出来ていない。</li> </ul>
相談機能	<p>○すまいるの評価について検討</p> <p>○区民アンケートの実施 ⇒期間を区切って各所口ゴフォームと紙にてアンケートを実施した。概ね高評価となったが、そもそものアンケートの目的や実施方法の検討が不十分だった。</p> <p>○杉並区の相談支援体制についての説明 ⇒2層であるすまいるの事業内容の説明のうえ意見交換を行い、事業により認知度に差があることが明確になった。また改めてネットワークの重要さが指摘された。すぐできる取組として、毎月の広報誌で事業内容をピックアップして紹介することとした。</p> <p>○相談支援従事者の質の向上のための取組 &lt;相談支援部会&gt; ・「意思決定支援について大切にしたいこと」の冊子作成と共有・周知 ・多職種連携について、支援場面ごとのよりよい効果的な連携についての検討</p>	情報調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センターも含めた、地域の相談支援体制についての理解促進が不十分。</li> <li>・相談支援体制の評価をどのように実施するか議論が不十分。</li> </ul>

<p>福祉サービス等の整備状況や課題等の抽出、把握や共有</p>	<p>地域移行 高齢・障害</p>	<p>○福祉サービス等の課題等の抽出、把握や共有 &lt;地域移行促進部会&gt; ・福祉サービス等の把握を行い、支援者ごとの情報のバラつきを減らすために地域移行パンフレットの作成・周知を行った。</p> <p>&lt;高齢・障害連携部会&gt; ・区内通所施設を対象とした「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行期におけるアンケート」実施 ・共生型サービスの本人・家族への周知 ・障害分野・高齢分野、双方の支援者の情報共有(障害福祉サービスと介護保険について、併給事例の紹介)</p>	<p>情報調整 社会資源 人材確保・育成</p>	<p>・把握や共有には着手できたが、課題の抽出まで到達していない。</p> <p>・各部会で検討した内容を本会でどのように課題としてあげ協議していくかのシステム構築がなされていない。</p>
<p>地域生活支援拠点</p>	<p>本会 拠点</p>	<p>○拠点の評価方法の検討 ○拠点の現状について討議 ①地域生活支援拠点に期待すること ②自分だったら何ができる？ ⇒何度かテーマを変えて討議をし意見は色々が出た。実効性のある拠点となるためには、今できていること、出来ていないこと、直ぐに取り掛かることなどの整理が必要では等の意見が出た。</p> <p>○上記の意見を受け、羅針盤を用いた現状報告と課題の整理のうえ、拠点部会の立ち上げをした &lt;拠点部会の取組&gt; ・緊急時対応計画の書式、緊急時の定義づけ、要支援者の対応について検討 ・知的障害者の地域移行システム構築に向けた検討の着手 ・強度行動障害のある方の支援の実態把握を目的としたアンケートの実施</p>	<p>情報調整 社会資源 人材確保・育成 評価</p>	<p>・部会が発足したが、今後本会では拠点についてどう協議していくかが明確でない。</p> <p>・拠点部会で現在協議を進めている内容以外の地域生活支援拠点に関する課題の検討着手はどのように進めていくか。</p>
<p>個別事例からの課題抽出</p>	<p>本会 医ケア</p>	<p>○必要性の説明のみに留まっている</p> <p>&lt;医療的ケア児支援検討部会の取組&gt; ・「学童クラブでの医療的ケア児の受け入れ」事例報告 ・「18歳問題」における、単独通所に至った事例報告と移行期医療の課題についての検討 ・「併行通園・移行支援」における事例報告</p>	<p>社会資源</p>	<p>・個別事例からの課題抽出に関するシステム作りが必要。</p> <p>・全ての障害のある子どもの地域課題の把握や課題共有、解決の手法についてのシステム作り。 ⇒次期より「こども部会」に変更し引き続き協議をすすめる。</p>
<p>シンポジウム</p>	<p>実行委員会</p>	<p>○毎年の開催 「それなら私もできるかも」</p>	<p>情報 人材確保・育成</p>	<p>・区民に向け協議会の活動や障害者の地域生活を周知するために、真に効果的な開催場所や方法。</p>
<p>その他</p>	<p>本会 地域移行 医ケア</p>	<p>・差別解消会議報告 ・東京都協議会報告 ・震災時の視覚障害者支援報告 ・こども部会立ち上げ ・当事者意見反映についての協議⇒委員以外の当事者からの意見反映へ ・障害者の居住についての検討(居住支援協議会との情報共有) ・障害児(医療的ケア児)の災害対策についての検討</p>		<p>・各部会からの報告や課題提起の機会が少なかった。 ・各委員からの、属するネットワークの課題や報告の機会が少なかった。</p>

すまいる荻窪

事業名	事業内容	件数	トピックス	関係機関
①相談事業	● 電話・対面での相談	8282	<p>&lt;サービス中断の方&gt;                      作業所中断後、数年経過の32歳男性（愛の手帳3、行動障害・精神もあり）の母親が飛び込みで来所。家で葛藤の日々で日中活動の再開希望。サービス係と連携し面談、医療の見立て必要、病院でのカンファレンス、および特定相談事業所も新たに入り作業所の利用を目指している。</p>	医療
	● アウトリーチ、同行支援	183		障害福祉サービス
	● 専門相談	34		特定相談支援事業
	● ピア(当事者)による相談	818		
	● 緊急時コーディネート	13		
②自立を支援する事業	● 集える場の提供	2129	写真参照	特定相談支援事業
	● 自立を支援する事業	260		権利擁護
	● ピア相談員の育成	120		障害福祉サービス
	● 当事者活動支援	142		
③精神障害者の地域生活を支援する事業	● 退院支援	20	<p>&lt;地域移行プレ&gt;                      退院に不安、地域生活のイメージがつかないのが怖い等でなかなか退院意欲がわからない患者さんにピアサポーターを活用して退院への動機付けを手伝う。ピアと一緒に話をすることで気持ちがほぐれたり、前向きになりグループホームに退院する事を決めて、地域移行支援事業に引き継ぐ事ができた。                      ※今年度地域移行支援事業への移行2件、プレ事業から直接退院2件</p>	特定相談支援事業所
	● 地域移行プレ相談支援	90		医療
	● 地域移行に準じた支援	10		障害福祉サービス事業所

④地域連携・ネットワーク構築	● 自立支援協議会参画	本会+各部会	<地域公開講座> ○地域公開講座「8050世帯を『問題』としないために支援者としてできること～高齢・障害分野の垣根をこえて～」	特定相談支援事業所
	● 地域への情報発信	12	精神科医の講義と、高齢者福祉・障害者福祉に携わる支援者同士で多職種連携をテーマにしたグループワークをおこなった。特定相談支援事業所、就労継続支援事業所、ケアマネージャー、ケア24、保健センター、病院ソーシャルワーカー等計28名	医療
	● 人材育成	17	○『自分の気持ちをうまく伝えるコツ』 SSTの技法を使い、家族、友人、主治医など身近な人に自分の気持ちを相手にうまく伝える方法を実践を通して学ぶ。	高齢分野
	● 計画相談への協力	10	広報を見ての一般区民の参加と障害当事者が半々で31名。初対面の相手同士でペアを組みワークも行った。障害者と一般区民がペアになることで、障害理解、啓発の機会、偏見/差別の解消につながる場としても有効だった。	障害福祉サービス事業所
⑤権利擁護、成年後見制度	● 広報、ボランティア、講座、虐待防止	随時	<虐待・アウトリーチ> 本人40代脳出血（要支援2）、同居の母（介護4）の内縁の夫より本人に暴力あり、ケア24、基幹センターと訪問。	権利擁護
	● 合理的配慮	随時	<成年後見制度の利用促進> 親亡き後の相談の中で情報提供、認知症の親に後見人をつけたいという本人の相談をケアマネと連携、地域移行プレの支援の中で後見制度の必要性、後見センター同行など	高齢分野
	● 成年後見制度の利用・理解促進	随時	<合理的配慮> 保健センター内からすまいるへのアクセスに点字ブロックを追加、視覚障害のピアスタッフが建物全体のアクセスビリティへの助言	障害福祉サービス事業所
⑥代読・代筆サービス事業		4	視覚障害者の方への公文書や手紙などの代読・代筆	
⑦個別避難支援プラン作成事業		5	民生委員さんの相談に対して、対応の仕方などアドバイス	

すまいる高井戸

事業名	事業内容	件数	トピックス	関係機関
①相談事業	● 電話・対面での相談	8346	<p>&lt;電話相談&gt;                      日常生活上の不安や疑問を話せる場として、電話相談を行いました。「話すことで他者とのつながりを持っている。」「話すことで会話がスムーズになってきた。」「相談相手が増えてきた。」など、コミュニケーション能力の向上が見られました。そのうえで、サービス事業者へつなげたり、サービス事業者とともに支援しています。</p>	特定相談支援事業 障害福祉サービス 就労支援
	● アウトリーチ、同行支援	106		
	● 専門相談	66		
	● ピア(当事者)による相談	594		
	● 緊急時コーディネート	7		
②自立を支援する事業	● 集える場の提供	193	<p>&lt;自立支援事業&gt;                      サービスにつながっていない利用者を中心に、知的障害の症状に合わせ、交流の場を提供しています。活動を通じて、他者とのかかわりを体験し、サービス利用につながる力を獲得していただいています。</p>	特定相談支援事業 障害福祉サービス
	● 自立を支援する事業	337		
	● ピア相談員の育成	19		
	● 当事者活動支援	211		
③精神障害者の地域生活を支援する事業	● 退院支援	5	<p>&lt;地域移行プレ&gt;                      精神病院から在宅への退院を支援しました。ご本人のアセスメントから、一人暮らしの可能性を探り、不動産屋へ同行し物件を探したり、地域移行事業者への橋渡しを行いました。</p>	特定相談支援事業 医療 障害福祉サービス
	● 地域移行プレ相談支援	36		
	● 地域移行に準じた支援	5		
④地域連携・ネットワーク構築	● 自立支援協議会参画	本会+各部会	<p>&lt;地域への情報発信&gt;                      高円寺学園のインクルーシブ学習の一環で精神障害の当事者と活動に参加しました。                      &lt;ケア24高井戸&gt;                      地域課題を考える会議に参加予定です。                      &lt;高井戸保健センター&gt;                      交流会を実施しました。</p>	教育 高齢分野 医療
	● 地域への情報発信	7		
	● 人材育成	7		
	● 計画相談への協力	随時		

⑤権利擁護、成年後見制度	● 広報、ボランティア、講座、虐待防止	6	<虐待防止研修> 就労支援事業所、通所事業所、グループホームなど 様々な事業者へ職員を講師として派遣し、杉並区内を 中心に、虐待防止研修を行いました。社会資源の質を 確保する活動です。	権利擁護
	● 合理的配慮	6		障害福祉サービス
	● 成年後見制度の利用・理解促進	45		
⑥代読・代筆サービス事業		0		
⑦個別避難支援プラン作成事業		0		

すまいる高円寺				
事業名	事業内容	件数	トピックス	関係機関
①相談事業	● 電話・対面での相談	6816	<p>&lt;アウトリーチ&gt;自宅での生活の様子確認や、外出が難しい利用者を訪問した。ニーズに応じて、通院同行や福祉サービスの同行支援を行った。基幹職員とじっくり訪問を実施した。</p> <p>&lt;専門相談&gt;困難事例を臨床心理士に相談しアセスメントの助言を受けた。</p> <p>&lt;ピア相談&gt;毎週のピア電話や対面での相談を実施した。</p> <p>&lt;緊急時コーディネート&gt;緊急時対応計画の作成、緊急時の計画に基づく支援を実施した。</p>	特定相談支援事業所
	● アウトリーチ、同行支援	156		保健
	● 専門相談	17		高齢分野
	● ピア(当事者)による相談	169		
	● 緊急時コーディネート	6		
②自立を支援する事業	● 集える場の提供	583	<p>&lt;集える場&gt;開所日はすべてフリースペースを開放した。</p> <p>&lt;自立を支援する事業&gt;利用者向けのプログラム、講座を実施した。</p> <p>&lt;ピア相談員育成&gt;3すまいる合同の基礎講座(入門講座)に2名の利用者が受講。</p> <p>&lt;当事者活動&gt;知的障害の当事者会、精神中心の当事者会を毎月実施した。</p>	その他
	● 自立を支援する事業	93		
	● ピア相談員の育成	32		
	● 当事者活動支援	30		
③精神障害者の地域生活を支援する事業	● 退院支援	5	<p>&lt;退院支援&gt;病院からの直接の依頼は少なかった。</p> <p>&lt;地域移行プレ支援&gt;個別及びグループでの精神科病院長期入院患者の訪問を実施した。</p> <p>&lt;地域移行に準じた支援&gt;地域移行プレから引き継ぐ形でGHへの移行支援を実施した。</p>	医療
	● 地域移行プレ相談支援	60		保健
	● 地域移行に準じた支援	10		
④地域連携・ネットワーク構築	● 自立支援協議会参画	本会+各部会	<p>&lt;地域への情報発信&gt;地域公開講座、方南小学校総合学習での授業協力、3すまいる合同による高円寺学園中学での授業協力、障害者交流館まつりへの協力を行った。</p> <p>&lt;人材育成&gt;初任者研修、現任研修の地域実習受入れ、区スキルアップ研修への協力を行った。</p> <p>&lt;地域連携&gt;ケア24センター長会での事業説明と事例報告、保健センター会議の他地域内の2つの会議に参加して地域課題を協議した。</p>	その他
	● 地域への情報発信	16		教育
	● 人材育成	5		特定相談支援事業所
	● 計画相談への協力	10		

⑤権利擁護、成年後見制度	● 広報、ボランティア、講座、虐待防止	40	<広報> 地域理解促進のため広報紙を毎月発行した他、地域公開講座を地域住民ととのに実施した。プログラムでボランティアを受け入れた。 <合理的配慮> 個々の利用者に応じた対応を行ったほか、合理的配慮に関する所内研修を実施した。 <成年後見利用促進> ニーズに応じた情報提供や支援を実施したほか、所内研修を実施した。	その他
	● 合理的配慮	10		
	● 成年後見制度の利用・理解促進	5		
⑥代読・代筆サービス事業		5	各すまいるが受託している事業。近隣の視覚障害者数名に代読、代筆を行った。	
⑦個別避難支援プラン作成事業		1	民生児童委員と連携して実施する事業。支援依頼は少なかった。	